

授業科目名	保育課程論	教員名	椋木 香子	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	必修
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	必修
					こども音楽療育士	
科目番号	F0I201	配当年次	2年前期	卒業要件	中高英語コース	
単位数	2単位				小幼コース	必修
					幼保コース	必修
科目	教育の基礎的理解に関する科目（幼稚園及び小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）					
一般目標	<p>(1)教育課程の意義 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法 教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。</p>					
到達目標	<p>(1)教育課程の意義</p> <p>1)学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。</p> <p>2)学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。</p> <p>3)教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法</p> <p>1)教育課程編成の基本原則を理解している。</p> <p>2)教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。</p> <p>3)単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント</p> <p>1)学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。</p> <p>2)カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基準として各園で編成される教育課程・保育課程について、我が国の保育内容・方法の特徴を踏まえたうえで、基本的な考え方や編成の方法を理解する。また、子ども理解、保育記録に基づき各園の状況に合わせて行われるカリキュラム・マネジメントの必要性や地域・家庭との連携、幼小接続についても学習する。さらに、指導計画の作成を通して、保育課程・教育課程の編成の基本的な考え方について学習する。					
授業計画	<p>第1回：保育課程とは何か・教育課程・保育課程およびカリキュラムの基本的な考え方と編成原理について理解したうえで、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の性格と位置づけについて理解する。また、教育課程編成の目的について理解する。（目標(1)-1), 3))</p> <p>第2回：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂の変遷と社会的背景・保育の歴史を踏まえた上で、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂の変遷と社会的背景を踏まえて、今回の改訂のポイントを理解す</p>					

	<p>る。また、子ども子育て支援制度についても学習する。(目標(1)-2), (2)-1))</p> <p>第3回: 保育内容と保育方法①・幼児期の特性を踏まえて構成されている我が国の保育内容と保育方法について学習する。特に、環境を通しての保育について、保育の実践をビデオで見ながら具体的に学習する。(目標(1)-2), (2)-1), 2))</p> <p>第4回: 保育内容と保育方法②・幼児期の発達の特性と個別的特性を踏まえた教育課程について学習する。特に、遊びを通しての保育について、遊びの事例検討を通じて理解する。(目標(1)-2), (2)-1), 3), (3)-1))</p> <p>第5回: 保育内容と保育方法③・子どもの生活に即した教育課程の編成について学習する。海外の実践事例などを参考に、生活を通してさまざまな力を身につけることを学習する。(目標(1)-2), (2)-1), 3), (3)-1))</p> <p>第6回: 子ども理解と教育課程・保育課程・子ども一人一人の個性の理解と子どもの発達段階を考慮したうえで、教育課程・保育課程が編成されることを理解する。そのためには、子ども理解が重要であることを事例を通して学習する。(目標(1)-2), (2)-1), 3))</p> <p>第7回: 幼児教育・保育における指導計画・教育課程・保育課程と指導計画の関係について理解し、長期計画(年間計画、期間計画、月間計画)と短期計画(週案、日案、デイリープログラム)の具体的な事例を通して、それぞれの計画の意義・必要性を学習する。また、設定保育による実践計画の考え方や保育形態についても学習する。(目標(1)-1), 2), (2)-3))</p> <p>第8回: 季節や行事と保育の計画: 教育課程編成における季節や行事の意義について理解する。また、季節を活かした保育の計画の具体例や行事を通じた指導の留意点についても学習する。(目標(1)-1), (2)-2), 3))</p> <p>第9回: 幼児教育・保育における記録の必要性和カリキュラム・マネジメント・保育業務に関するさまざまな記録の種類と意義について学習し、カリキュラム・マネジメントの視点から記録の必要性について理解する。また、PDCAサイクルを活かした実践と評価の在り方について学習する。(目標(1)-2), 3), (3)-2))</p> <p>第10回: 幼小接続の現状と課題・幼稚園・保育所(園)・幼保連携型認定こども園と小学校との接続(幼小接続)に関する現状と課題、今後の幼小接続の在り方を踏まえたうえで、小学校との接続を視野に入れたアプローチ・カリキュラムについて学習する。(目標(1)-2), (3)-2))</p> <p>第11回: 地域・家庭との連携と地域子育て支援・教育課程編成における地域・家庭との連携の重要性について理解する。また、幼稚園・保育所(園)・幼保連携型認定こども園に地域における子育て支援の拠点としての役割があることを理解する。(目標(1)-2), (2)-2), 3))</p> <p>第12回: 教育課程・保育課程の編成の実際①・関係法令に基づき、家庭や地域の実態、社会の要請、子どもの実態、各園の教育目標等をもとに教育課程を編成することを、具体的な保育の計画の作成を通して理解する。(目標(1)-2), (3)-2))</p> <p>第13回: 教育課程・保育課程の編成の実際②・長期的な指導計画を作成することを通して、教育内容が領域横断的に選択・配列されていることを、具体的な保育の計画の作成を通して学習する。(目標(1)-2), 3))</p> <p>第14回: 教育課程・保育課程の編成の実際③・具体的な保育の計画の作成を通して教育課程における環境構成(人的環境・物的環境)の重要性について理解するとともに、教育課程の編成の留意点やカリキュラム・マネジメントについて具体的に学習する。(目標(1)-2), 3))</p> <p>第15回: これまでの学習の振り返り・作成した教育課程の発表及び相互の意見交換を通して、教育課程編成の理解を深める。(目標(1)-1), 3), (2)-1), (3)-1))</p> <p>期末試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>期末試験(50%)、発表(50%)から総合的に評価する。</p> <p>なお、レポートへのフィードバックについては、以下の方法による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。
<p>時間外の学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容について自分なりに整理し直し、ノートを作成すること。

<p>テ キ ス ト</p>	<p>『保育所保育指針』（最新版） 『保育所保育指針解説』（最新版） 『幼稚園教育要領』（最新版） 『幼稚園教育要領解説』（最新版） 『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』（最新版）</p>
<p>参 考 書 ・ 参 考 資 料 等</p>	<p>参考書：・北野幸子編著『シードブック 乳幼児カリキュラム論—教育課程・全体的な計画の編成と評価』建帛社、2019年。 ・保育所指導指針解説書（最新版）（厚生労働省）、幼稚園指導要録解説（最新版）（文部科学省） 参考資料等：幼稚園教育指導資料第1集 指導計画の作成と保育の展開（文部科学省）</p>
<p>担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ</p>	<p>特になし</p>
<p>オ フ ィ ス ア ワ ー</p>	<p>授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）</p>